

クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス  
Email Security R2 あんしんプラス  
導入手順マニュアル

Version 1.0

---

日本事務器株式会社

## 改版履歴

Version	日付	変更内容
1.0	2020/07/17	新規作成

# 目次

## [1.はじめに](#)

## [2.導入の流れ](#)

## [3.設定](#)

### [3.1. ログイン](#)

### [3.2. ライセンス契約の同意](#)

### [3.3. 2要素認証設定](#)

### [3.4. 設定ウィザードによる設定](#)

### [3.5. DNSへTXTレコードの設定](#)

### [3.6. 受信保護設定](#)

### [3.7. 送信保護設定](#)

### [3.8. 隔離設定](#)

### [3.9. テストメッセージの送信](#)

## [4.ファイアウォールの設定変更](#)

## [5.DNSの設定変更](#)

### [5.1. MXレコードの設定](#)

### [5.2. SPFレコードの変更・追記（送信保護を有効にする場合）](#)

#### [【参考】DNSの設定変更](#)

#### [MXレコードの変更（Windows Server2012 R2の場合）](#)

#### [SPFレコードの変更・追記（送信メールを有効にする場合）](#)

## [6.動作確認](#)

### [6.1. ステータスの確認](#)

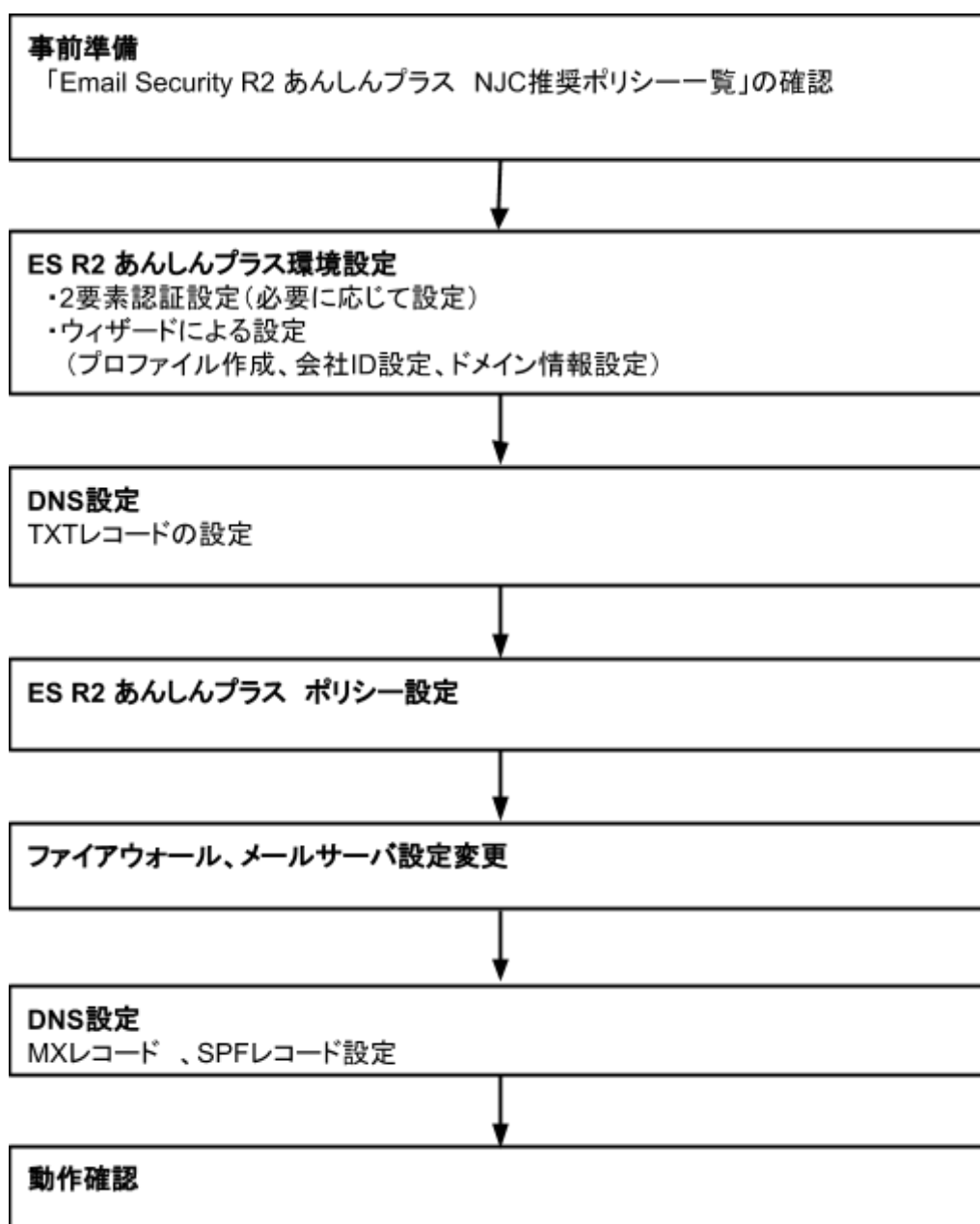
### [6.2. 受信テスト](#)

### [6.3. 送信テスト](#)

# 1.はじめに

本マニュアルは、Email Security R2 あんしんプラス（以下「ES R2 あんしんプラス」と称す）」の導入手順マニュアルです。  
導入までの手順について説明いたします。

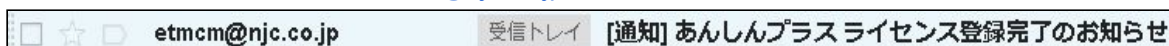
## 2.導入の流れ



## 3.設定

### 3.1. ログイン

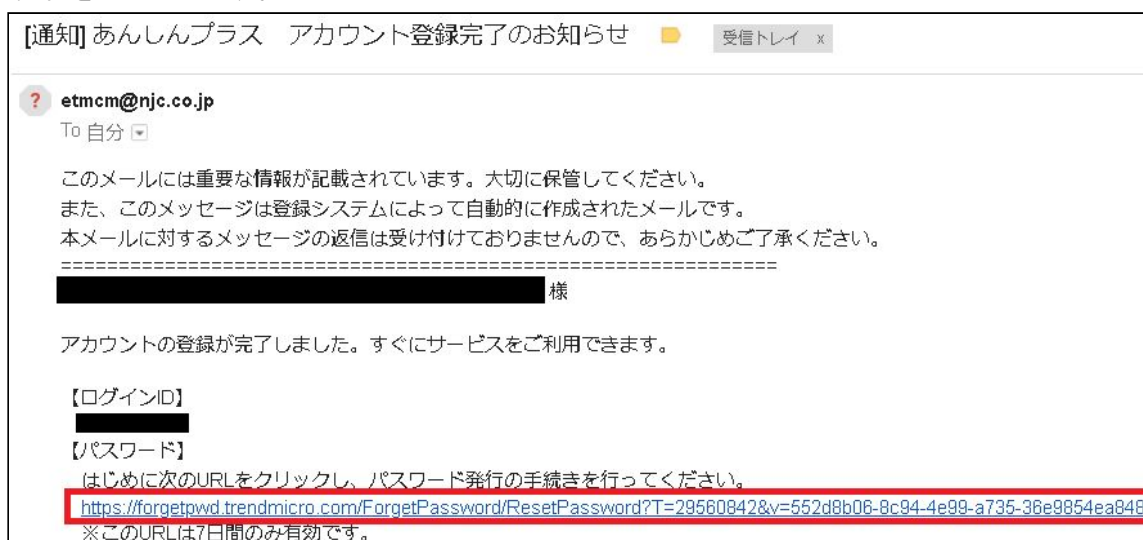
ライセンス発行完了のメールを[etmcm@njc.co.jp](mailto:etmcm@njc.co.jp)より受信します。



メールに記載されているURLへアクセスし、アカウントとパスワードを入力してログインしてください。

※他あんしんプラスサービス（VBSSやCloud Edgeなど）を既に導入している場合  
→アカウントとパスワードは同じになります。

※ES R2 あんしんプラス以外にあんしんプラス製品を導入していない場合  
→**アカウント登録完了のメール**よりログインID（アカウント）を確認してパスワードの発行をおこないます。



ログイン完了後、Email Security R2 あんしんプラスの「コンソールを開く」をクリックします。

The screenshot shows the management console interface for NJC. At the top, there is a navigation bar with 'NJC ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス™ あんしんプラス' and '管理コンソール'. Below this, there are tabs for '登録済みの製品/サービス', 'ユーザ登録情報', and 'ヘルプ'. A message bar indicates that the license for the test environment has expired. A table lists the licenses, with the 'Email Security あんしんプラス スタンダード' license highlighted in red. The table columns include 'サービスプラン名', '製品/サービス', 'シート/ユニット', 'ライセンス種別', '開始日', '有効期限', and 'アクション'. The 'アクション' column for the highlighted license contains a link to 'コンソールを開く'. A legend at the bottom right explains the status icons: green for '有効期限内', yellow for '間もなく期限切れ', and red for '有効期限切れ'.

サービスプラン名	製品/サービス	シート/ユニット	ライセンス種別	開始日	有効期限	アクション
Cloud Edge あんしんプラス100	Cloud Edge 100	2 シート	製品版	2016/03/30	自動更新	コンソールを開く
Cloud Edge あんしんプラス50	Cloud Edge 50	2 シート	製品版	2015/10/09	自動更新	コンソールを開く
CSL あんしんプラス スタンダード	Client/Server Suite Basic Pack	5 シート	製品版	2012/06/01	自動更新	
Email Security あんしんプラス スタンダード	HES	10 シート	製品版	2017/02/20	自動更新	コンソールを開く
SSDA あんしんプラス	Deep Security Advance (3 コンポーネント)	3 OS	製品版	2018/08/01	自動更新	
VBS あんしんプラス スタンダード managed	ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス	40 シート	製品版	2011/04/05	自動更新	コンソールを開く
【TEST】 SSDA1ヶ月	Deep Security Advance (3 コンポーネント)	1 OS	製品版	2018/04/05	2018/05/04	

### 3.2. ライセンス契約の同意

ライセンス契約に同意

### 3.3. 2要素認証設定

2要素認証により管理者のサブアカウントのセキュリティが強化され、パスワードが盗まれた場合でもTrend Micro Email Security管理コンソールへの不正アクセスが防止されます。  
必要に応じて設定をします。

- ・ 2要素認証を設定する場合は「2要素認証を行う」をクリックします。
- ・ 2要素認証を設定しない場合は「危険性を理解した上で、スキップします」をクリックして、次の設定ウィザードに進んでください。  
(ここでスキップしても後から2要素認証の設定はできます)



#### 2要素認証の設定

- ①AppleのApp StoreまたはGoogle PlayのいずれかからGoogle Authenticatorをダウンロードし、モバイル端末にインストールします。
- ②Google AuthenticatorにてQRコードをスキャンして、Trend Micro Email Securityアカウントを追加します。
- ③Google Authenticatorで生成された6桁のコードを入力し、認証が適切に行われることを確認します。

### 3.4. 設定ウィザードによる設定

#### 1. プロファイルの作成

ライセンス契約に同意すると下記の画面が表示されます。  
管理者のプロファイル情報を入力して「次へ」をクリックします。  
(必須：名前、メールアドレス 任意：携帯電話番号)

プロビジョニングウィザード

注意：登録したメールアドレスにメールメッセージが送信されます。受信トレイでメールをチェックし、メッセージに記載された確認リンクをクリックして続行してください。

プロファイルの作成

会社IDの設定

ドメインを追加

完了

\*名前 (姓):

\*名前 (名):

\*メールアドレス:

携帯電話番号:  (201) 555-0123

ログオフ

#### 2. 会社IDの設定

会社IDを設定します。この会社IDに設定する内容に基づき、企業のサブドメイン・MXレコードが作成されます。  
例: "company1" と設定した場合、"company1.in.tmes.trendmicro.com" となります。

プロビジョニングウィザード

設定した会社IDに基づいてカスタムサブドメインが生成されます。たとえば、「example」を会社IDとして入力する場合、サブドメインの「example.in.tmes.trendmicro.com」が生成され、受信メッセージのMXレコードとして使用されます。

プロファイルの作成

会社IDの設定

ドメインを追加

完了

\*会社ID

会社IDを入力してください。

ログオフ



### 3. ドメインを追加

保護するドメイン情報を設定します。

各項目に必要な情報を記入してください。

- ①お客様ドメイン名（必須）
  - ②お客様メールの受信サーバの環境情報（必須）
    - 「IPアドレス/FQDN」
    - 「受信ポート」（SMTP：25番、MSA：587番、SMTPS：465番）
    - 「プリファレンス値」（受信メールサーバの優先度。値が小さいほど優先度が高い。）
- ※多数のメールサーバを用意して負荷分散や耐障害性向上を図っている場合

#### 【参考】

- ・受信サーバがG suiteの場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	1
ALT1.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	5
ALT2.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	5
ALT3.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	10
ALT4.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	10

- ・受信サーバがOffice365の場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
<domain>.mail.protection.outlook.com	25	1

※<domain>部にはお客様のドメインをご記入ください。

### ③お客様メールの送信サーバの環境情報

送信メールの保護を有効にする場合、「送信保護を有効にする」へチェックを付けて送信メールサーバの環境情報を入力します。

各情報を入力したら「次へ」をクリックします。

### 4.ウィザード設定完了

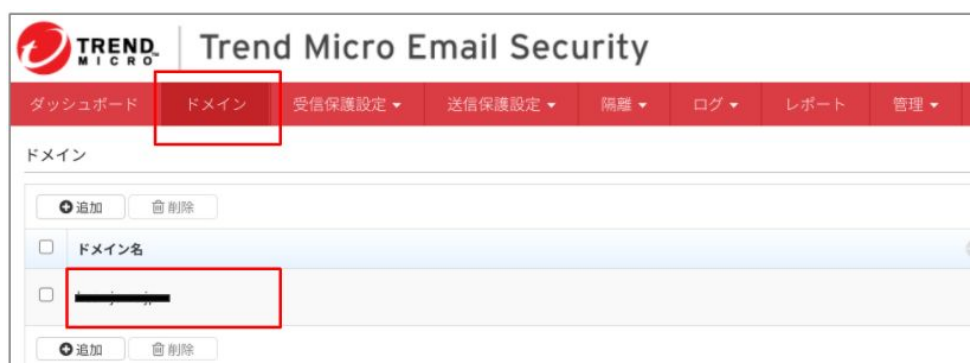
設定が完了すると、以下の画面が表示されます。「閉じる」をクリックしてウィザードを終了します。



## 3.5. DNSへTXTレコードの設定

### ①設定するTXTレコードを確認します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



- ② 「ドメインの編集」画面が表示されます。  
「ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。」の下にある  
TXTレコードに設定する「tmes=」で始まる値を控えます。



- ③ DNSへ手順②で控えたTXTレコードを設定します。  
DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

- ④ DNSへTXTレコード設定後、「確認」をクリックします。



- 「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。  
注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は  
少し時間がたってから再度確認してください。



### 3.6. 受信保護設定

「受信保護設定」タブをクリックして各設定を行ってください。

※参考としてNJC推奨ポリシーを以下に掲載しております。

- ・ Email Security R2 あんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧



各設定方法はオンラインヘルプを参照してください。

### 3.7. 送信保護設定

「送信保護設定」タブをクリックして各設定を行ってください。

※参考としてNJC推奨ポリシーを以下に掲載しております。

- ・ Email Security R2 あんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧



各設定方法はオンラインヘルプを参照してください。

※Email Security R2 あんしんプラス スタンダードをご契約いただき、送信メール通知をご利用の場合、Trend Micro Email Security Webコンソールのより次の通知設定をおこないます。

通知の編集

\*名前: [NJC] Notification of security settings violation

\*差出人: [REDACTED]@[REDACTED]

\*宛先: etmcm@njc.co.jp;nishinami@njc.co.jp;  
 複数入力する場合は、カンマ (,) またはセミコロン (;) で区切ってください。  
 送信者  
 受信者

\*件名: Sあんしんプラス 送信メール監視違反 (スパムメール)

変数リスト

本文: A message violated the security settings. The message has been deleted. Message details: Sender: %SENDER% Recipient: %RCPTS% Subject: %SUBJECT% Date: %DATE&TIME% Message size: %MSG\_SIZE% Attachment: %FILENAME% Attachment size: %ATTACH\_SIZE% # of attachments: %ATTACH\_COUNT% Message ID: %MAILID%

保存 キャンセル

### 3.8. 隔離設定

「隔離」タブをクリックして各設定を行ってください。  
 必要に応じて隔離の各設定をします。

TREND MICRO Trend Micro Email Security

ダッシュボード ドメイン 受信保護設定 送信保護設定 隔離 ログ レポート 管理 ヘルプ

隔離 通知設定

クエリ  
 エンドユーザコンソール設定  
 通知設定

基本情報

管理対象ドメイン: hes.njc.ne.jp

ステータス:  無効

通知メールのスケジュール

頻度: 毎日

スケジュール: 00:00 - +

各設定方法はオンラインヘルプを参照してください。

### 3.9. テストメッセージの送信

ES R2 あんしんプラスからテストメッセージを配信します。

動作確認のためのお客様メールアドレス (@前まで) を入力し、テストメッセージが受信できるか確認します。

**【要注意】**

テストメッセージの送信先は空欄でもエラーは発生しませんが、正常にドメイン登録が完了したことを確認する重要な工程のため必ず入力してください。

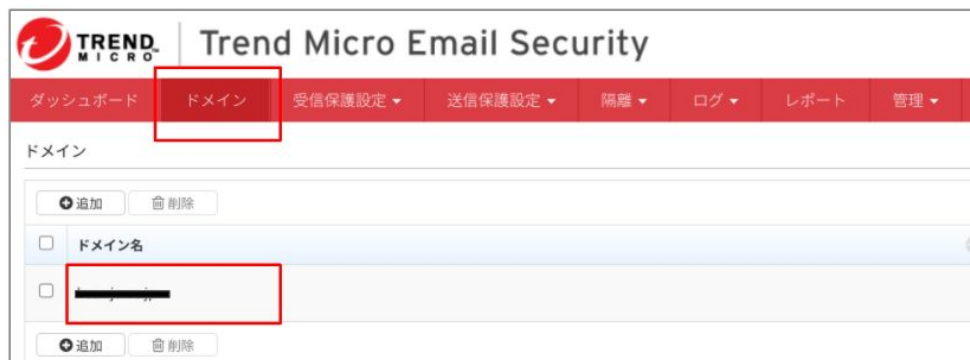
テストメッセージの受信ができないまま導入を進めた場合、運用開始後にメールが受信できなく

なる可能性があります。

テストメッセージが受信できない場合、ファイアウォール等の設定をしてから再度、テストメッセージが受信できることを確認してから次の工程へ進んでください。

- ①テストメッセージを送信します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



- ②「ドメインの編集」画面が表示されます。

テストメッセージの送信先に受信するメールアドレスを入力して「テスト」をクリックします。



- ③テストメッセージが受信できたか確認をします。

テストメッセージ

## 4. ファイアウォールの設定変更

必要に応じてEmail Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定してください。

許可するアドレスは、「ドメインの編集」-「受信サーバ」の「①次のTrend Micro Email Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。」の下にあるアドレスを設定してください。

ドメインの編集

全般

受信サーバ

送信サーバ

受信サーバ

\* @hes.njc.ne.jp mail.hes.njc.ne.jp 25 10 - +

MXレコードがTrend Micro Email Securityサーバを指すように設定されていません。 Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを受信するには、次の手順に従ってください。

- ① 次のTrend Micro Email Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。  
18.176.203.128/26  
18.176.203.192/26  
18.177.156.0/26  
18.177.156.64/26
- ② [接続テスト] をクリックします。 接続テスト
- ③ 次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。 njcpt.in.tmems-jp.trendmicro.com
- ④ [確認] をクリックします。 確認

注意: DNSの変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。定期的にTrend Micro Email Securityによって変更がチェックされます。

テストメッセージの送信先: kato @hes.njc.ne.jp テスト

保存 キャンセル

※ファイアウォールの管理者へ設定を依頼してください。

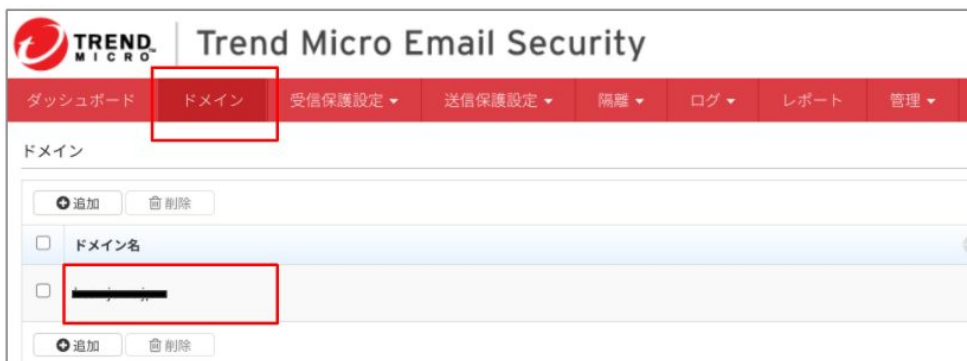
## 5.DNSの設定変更

### 5.1. MXレコードの設定

※送信保護を有効にする場合は、「5.2. SPFレコードの変更・追記」を確認してDNSへの設定はMXレコードとSPFレコードを同時に設定してください。

①設定するMXレコードの値を確認します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



②「ドメインの編集」画面が表示されます。

受信サーバの「次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。」の下にある

「xxx.in.tmems-jp.trendmicro.com」の値を控えます。（xxxはサブドメイン名）

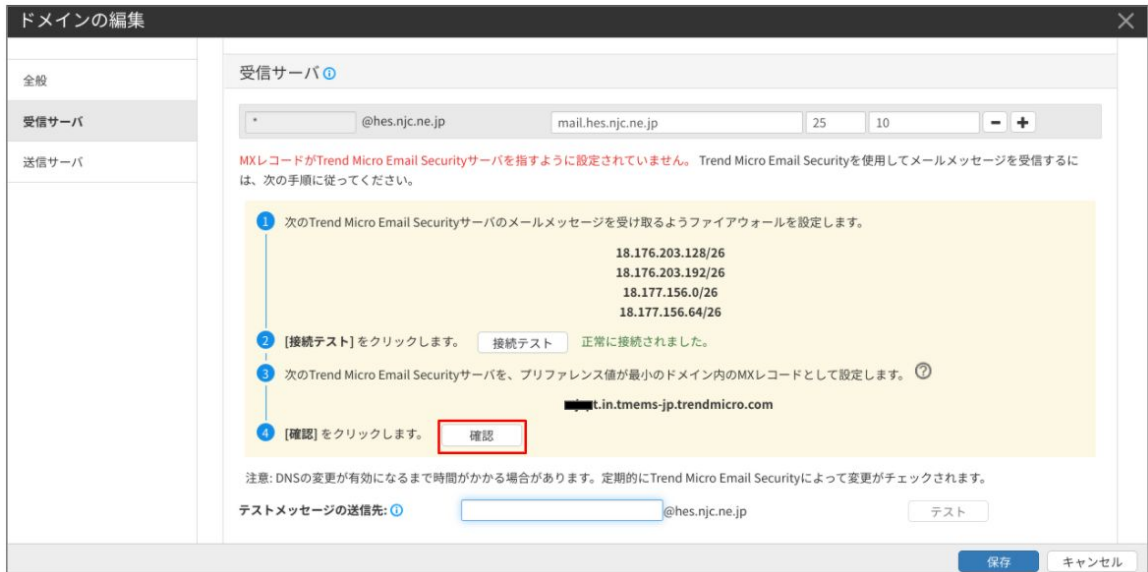


③DNSへ手順②で控えたMXレコードを設定します。

DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

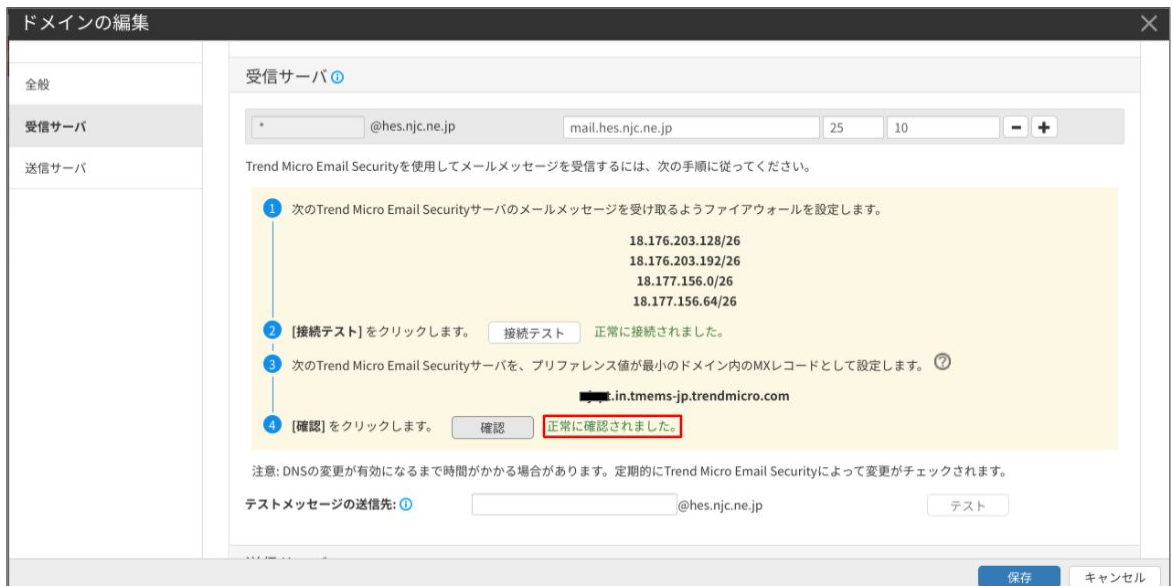


④DNSへMXレコード設定後、「確認」をクリックします。



「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

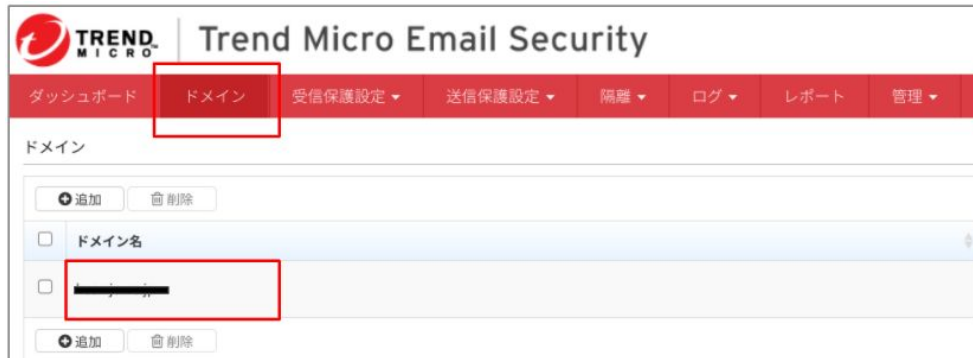
注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は少し時間がたってから再度確認してください。



## 5.2. SPFレコードの変更・追記（送信保護を有効にする場合）

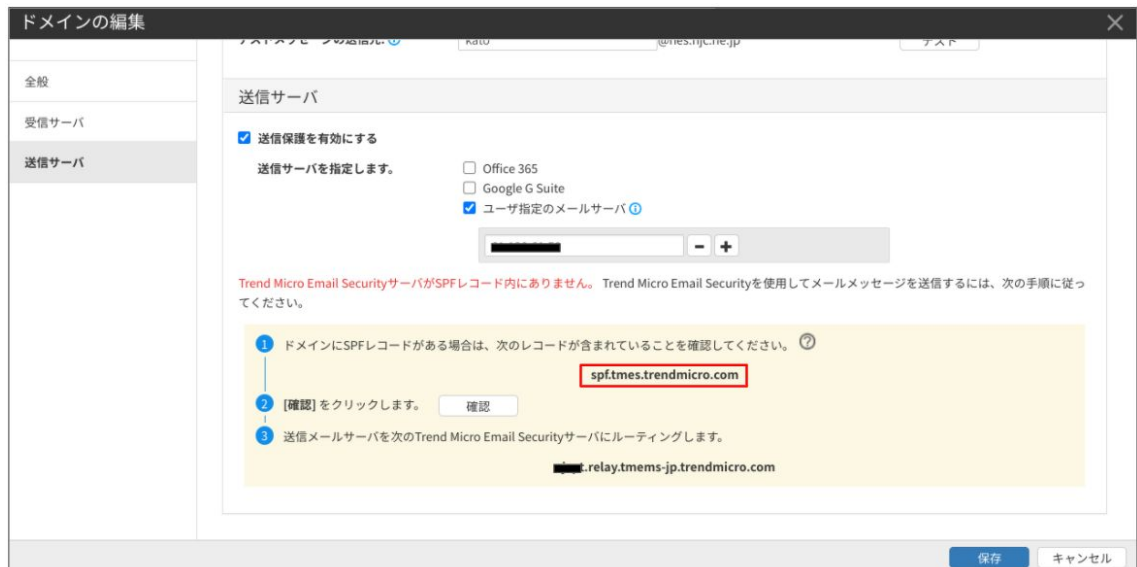
①設定するSPFレコードの値を確認します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



②「ドメインの編集」画面が表示されます。

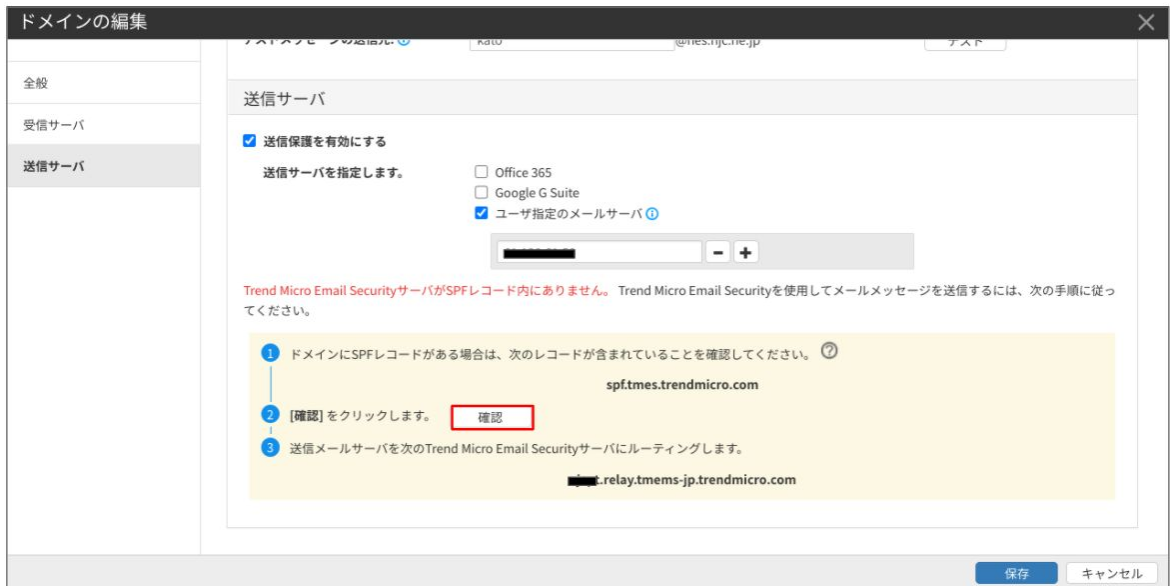
送信サーバの「ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。」の下にある値を控えます



③DNSへ手順②で控えたSPFレコードを追加設定します。

DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへSPFレコード設定後、「確認」をクリックします。



「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は少し時間がたってから再度確認してください。



## 【参考】DNSの設定変更

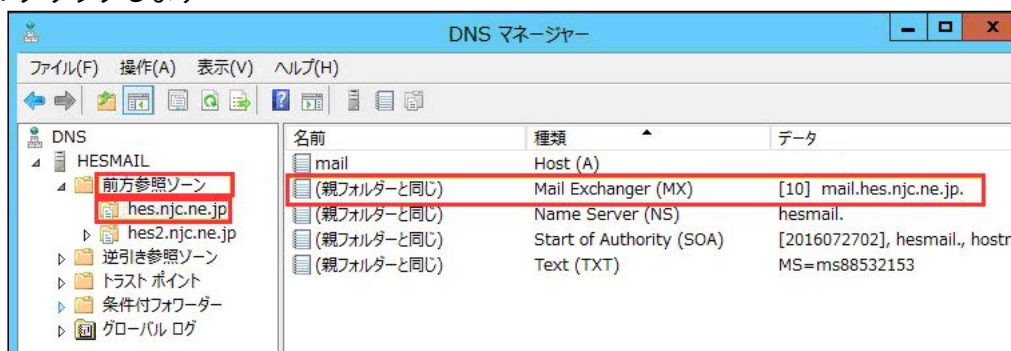
MXレコード、SPFレコードの設定変更例

### MXレコードの変更（Windows Server2012 R2の場合）

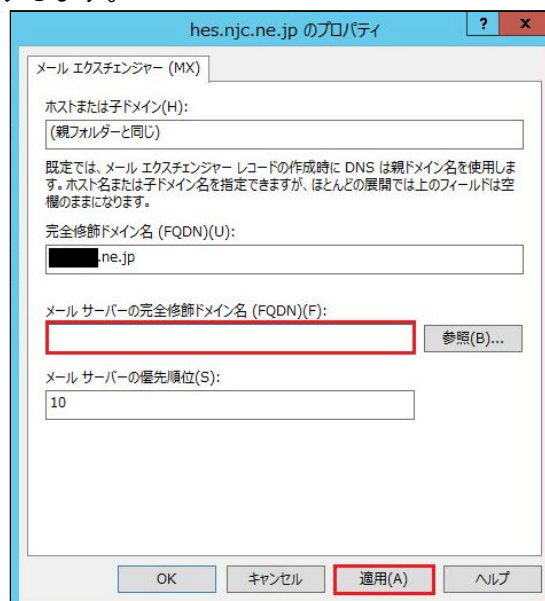
1. [サーバーマネージャー] を起動し [ツール] - [DNS] をクリックします。



2. [前方参照ゾーン] - [ドメイン名] を選択し、種類が [Mail Exchanger(MX)] をダブルクリックします

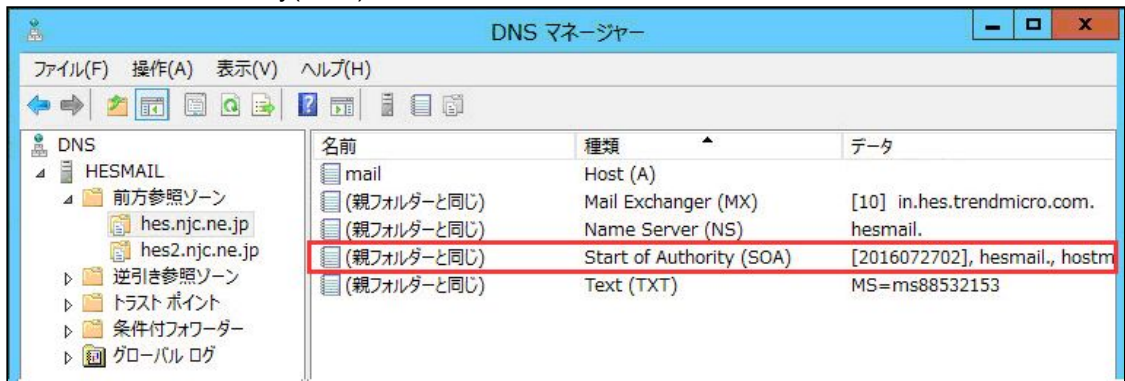


3. メールサーバーの完全修飾ドメイン名(FQDN)へ案内メールで通知されたFQDNを入力し、[適用] をクリックします。



4.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します。  
 (SPFレコードの変更・追記をする場合は、SPFレコードの変更・追記後に設定してください)

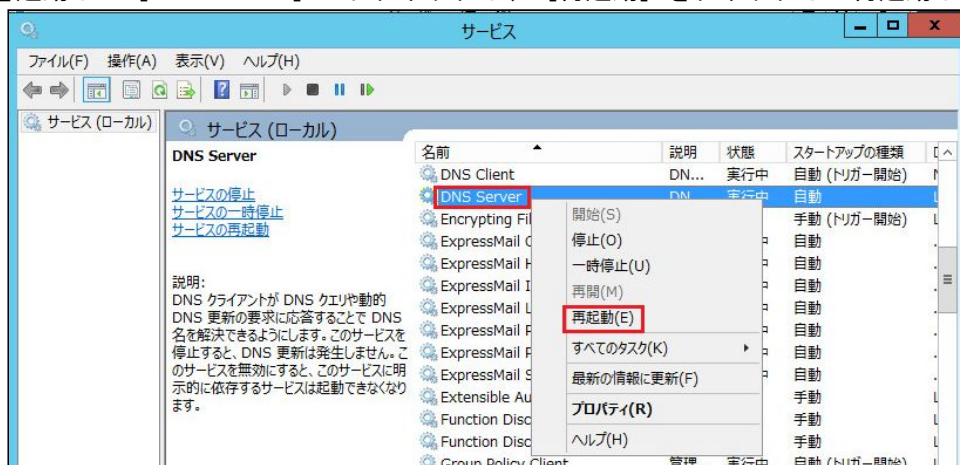
種類が [Start of Authority(SOA)] をダブルクリックします。



5. [増加] をクリックしてシリアル番号を増やすか、シリアル番号を直接入力して増加して [OK] をクリックします。



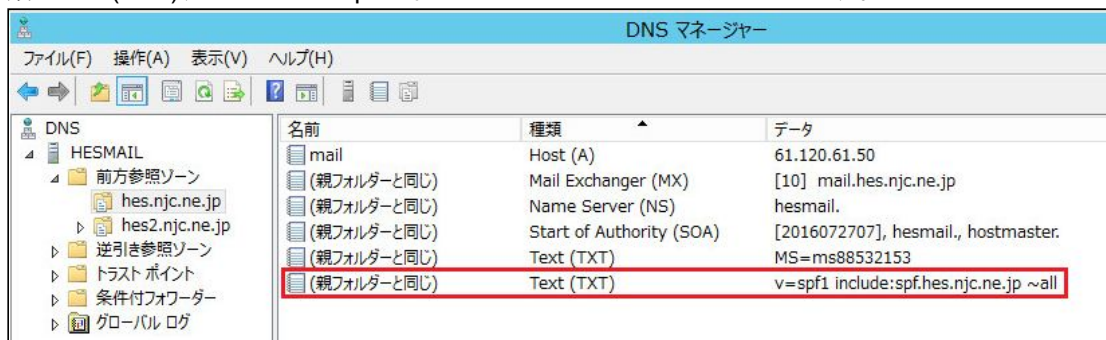
6.DNS Serverサービスを再起動します。  
 サービスを起動して [DNS Server] で右クリックし、[再起動] をクリックして再起動します。



## SPFレコードの変更・追記（送信メールを有効にする場合）

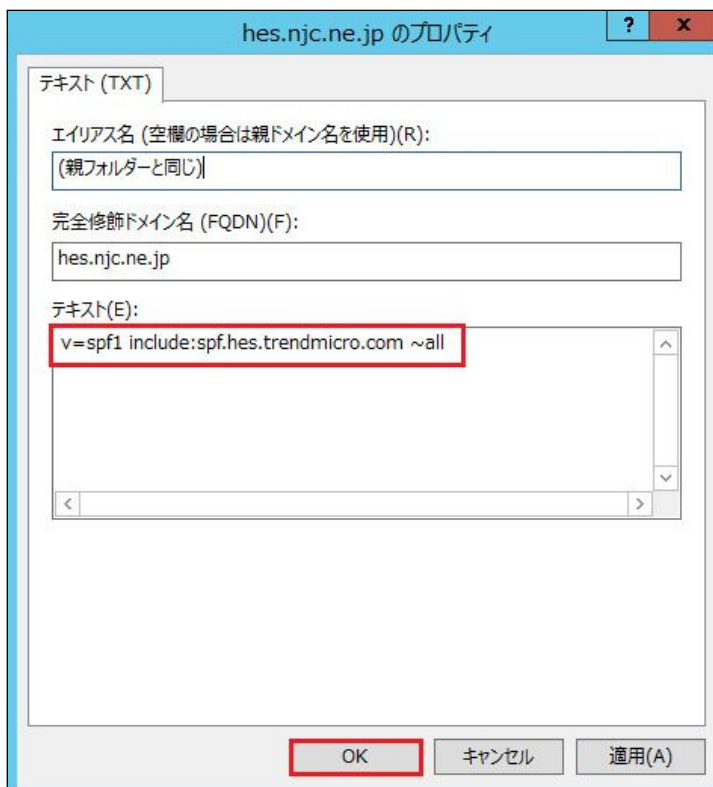
SPFレコードを使用する場合、変更または追記が必要になります。

1.種類がText(TXT)、データがv=spfで始まる場所でダブルクリックします。



2.プロパティが表示されたらテキストを変更または追記し、[OK] をクリックします。  
ドメインスペックに "spf.hes.trendmicro.com" を指定します。

(例)



3.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します。

「MXレコード変更 4.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します」を参照してください。

4.DNS Server サービスを再起動します。

「MXレコード変更 5.サービスを起動する」を参照してください。



## 6.動作確認

### 6.1. ステータスの確認

- 1.管理コンソールへログインします。
- 2.ドメインのステータスを確認します。  
メニューバーから [ドメイン] をクリックします。  
ステータスを確認します。「完了」の場合は、受信テストへ進んでください。

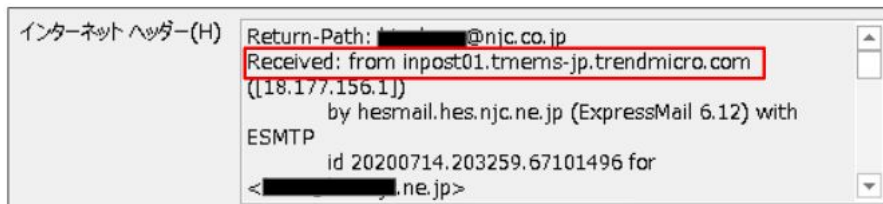


ドメイン名	受信サーバ	送信サーバ	追加日時	ステータス
hes.njc.ne.jp	mail.hes.njc.ne.jp	61.120.61.50	2020/07/09 13:39:37	完了

ステータスが「設定が必要」の場合は、再度「5.DNSの設定変更」を確認してください。

### 6.2. 受信テスト

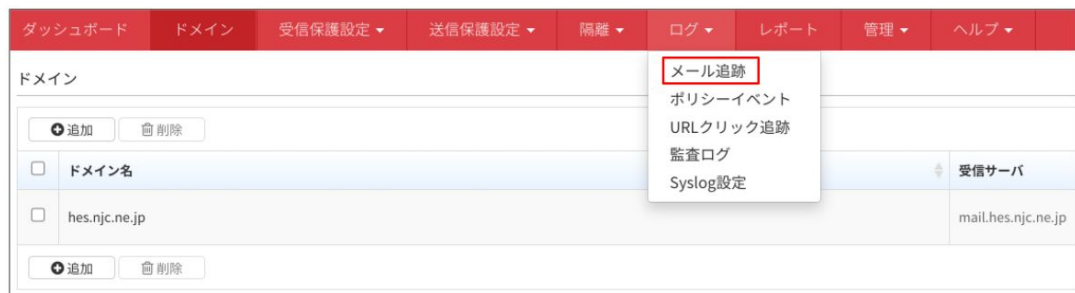
- 1.テストメール送信  
他ドメインのメールアドレス（例 [xxx@njc.co.jp](mailto:xxx@njc.co.jp)）からお客様のメールアドレスへテストメールを送信します。
- 2.テストメール受信  
テストメールを受信します。
- 3.メールの確認
  - (1)受信したメールを開きます。
  - (2)受信したメールのインターネットヘッダーを確認します。  
Received:from が「inpost01.tmems-jp.trendmicro.com」になっていれば、「ES R2 あんしんプラス」を経由しています。



インターネットヘッダー(H)
Return-Path: [redacted]@njc.co.jp
Received: from inpost01.tmems-jp.trendmicro.com ([18.177.156.1]) by hesmail.hes.njc.ne.jp (ExpressMail 6.12) with ESMTP id 20200714.203259.67101496 for <[redacted].ne.jp>

#### 4.管理コンソールからの確認方法

- (1)管理コンソールへログインします。
- (2)メニューバーから [ログ] - [メール追跡] をクリックします。



メニュー	サブメニュー
メール追跡	
ポリシーイベント	
URLクリック追跡	
監査ログ	
Syslog設定	

ドメイン名	受信サーバ
hes.njc.ne.jp	mail.hes.njc.ne.jp

(3)種類で「検索されたトラフィック」を選択し、下記条件入力後「検索」をクリックします。

ダッシュボード | ドメイン | 受信保護設定 | 送信保護設定 | 隔離 | ログ | レポート | 管理 | ヘルプ

ログ > メール追跡

条件

期間: 過去24時間

方向: 受信

受信者:

送信者:

種類: 検索されたトラフィック

処理: すべて

件名:

さらにオプションを表示

検索

日時	送信者	受信者	処理	件名
2020/07/14 20:32:57	██████@njc.co.jp	██████@hes.njc.ne.jp	配信済み	受信テスト 2
2020/07/14 20:16:16	██████@njc.co.jp	██████@hes.njc.ne.jp	配信済み	受信テストメール
2020/07/14 20:12:00	test@tmems-jp.trendmicro.com	██████@hes.njc.ne.jp	配信済み	Trend Micro Email Securityからのテストメッセージ

検索結果に表示されれば、「ES R2 あんしんプラス」を経由しています。

## 6.3. 送信テスト

### 1. テストメール送信

お客様ドメインから他ドメインのメールアドレス（例 [xxx@njc.co.jp](mailto:xxx@njc.co.jp)）へ、テストメールを送信します。

### 2. テストメール受信

テストメールを受信します。

### 3. メールの確認

受信テストと同様の手順で確認してください。

### 4. 管理コンソールで確認

受信テストと同様の手順で条件の方向を「送信」に変更して確認してください。



クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス

**Email Security R2 あんしんプラス  
導入手順マニュアル**

発行日 : 2019年7月17日

発行元 : 日本事務器株式会社